

敬老会 お祝いの言葉

朝夕、日ごとに涼しくなり、秋を感じる季節となりました。本日ここに敬老の日を迎え、皆様と共に長寿を喜びあえることを、心からお祝い申し上げます。

私たちが住む「旭川」が、道北地方を代表するまちにまで発展を遂げたのは、とりもなおさず、激動の時代を乗り越えてこられた皆様の、永年にわたるご努力の賜物であり、そのご苦勞とご功績に、心から敬意と感謝を申し上げます。

さて、例年であればたくさんの方にご出席いただき、長寿のお祝いを実施しているところではありますが、今年は新型コロナウイルス感染症により様相が一転し、日本国内にとどまらず、全世界でこうした活動が停滞に追い込まれています。未曾有の災禍とはいえ、社会生活は勿論のこと、経済活動にも大きな影響を与え、どれほど長期化していくのか、いまだに見通せない状況に皆様も不安を抱えられていることかと思われまます。

コロナウイルスと共存する生活様式にはまだまだ戸惑いもありますが、こうして皆様と共に敬老の日を迎えられましたことは、本会の開催の準備にあられた関係者の皆様のご尽力の賜物と深く感謝申し上げます。次第でございます。そして、世界の人々が一つになり、この難局に立ち向かい、人と人とのつながりを重んじる、助けあいの社会へ進むことを切に願っております。

認めあい、支えあい、助けあう社会の実現のためには、これまで皆様が積み重ねてこられた、ご経験とお知恵が不可欠だと考えております。地域福祉の更なる推進のために、引き続き変わらぬご指導、ご助言を賜りますようお願い申し上げます。

本日のお祝いの会に對し、社会福祉協議会の住民会員会費や赤い羽根共同募金の淨財を助成させていただいております。ここに改めて皆様の日頃からの社会福祉協議会、並びに共同募金委員会へのご協力に心からお礼申し上げます。

むすびに、本日、長寿を迎えられた皆様の末長いお幸せとご健勝をご祈念申し上げます。お祝いの言葉とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。

令和二年 月 日

社会福祉
法人 旭川市社会福祉協議会

会長 大 沼 克 己

旭川市共同募金委員会

会長 太 田 英 司